ファミリー寿司まんぼう初V

高松宮賜杯野球1部十勝予選

延長10回 パナソニック電工下す

特別延長を制し歓喜に沸くファミリー寿司まんぼうの選手たち

軟式野球の高松宮賜杯1部第55回全日本大会十勝支部予選（道軟式野球連盟帯広支部主催）が4、5の両日、伏古別公園球場などで行われた。決勝は今季1部に昇格したファミリー寿司まんぼうが、終盤八、九回に追い上げて同点とし、特別延長十回に挙げた1点のリードを七回から好救援の杉村大輔が守りきり、5―4でパナソニック電工帯広を破って初優勝を飾った。北北海道大会は7月8日から網走市などで行われる。（古川雄介）

◇決勝（5日）
ファミリー寿司まんぼう　0000001021 1 ―5
パナソニック電工帯広　0000000400 0 ―4
（十回特別延長）
▽三塁打＝村上（フ）
▽二塁打＝山下（フ）
▽審判＝佐藤芳、伊藤博、大津、二村

ファミリー寿司まんぼうは3点を追う八回、先頭の代打山下が左翼線へ二塁打、川口がバント安打で続き、村上の左前適時打で山下が生還。さらに野口が送り、庄司和の四球で満塁とし、津田の内野ゴロの間に川口がかえり1点差に迫った。九回は代打鈴木が敵失で出塁、井下の左前打、山下の死球で無死満塁とし、川口の犠飛で同点に追いついた。特別延長十回には津田の内野ゴロで決勝点を挙げた。先発新岡は七回に突然崩れて水崎保好監督。ベテランの奮戦が勝利を引き寄せた。

前週から5日連続で試合が続き疲労は蓄積した状態。それでも中盤までは22歳の先発・新岡佳祐が投手戦を演じ六回まで無失点の力投を見せた。七回に乱れて4失点後、チームを救ったのは2番手の杉村。「バックを信じて、芯を外すことだけ考えた」（杉村）と緩いボールでタイミングを外して打ち取った。

八回には先頭で代打の山下浩二が反撃の口火を切る左前二塁打。若手の勢いが自立つチームだが、この日は年配組の存在感が光った。かつて少年野球の豊頃ドリームズを指導していたころの教え子たちとプレーする杉村は「諦めなかったのが勝利につながった。ベテランと若手が一丸になれた」と満足そうにうなずいた。

昨年は東日本大会2部の大舞台を経験した。初戦で敗れはしたが、再び全国を目指そうとメンバーの士気は高まった。1部の猛者を相手にする道大会突破は一筋縄ではいかないが、水崎監督は「優勝を狙いに行く」と本気モード。杉村も「もう一度全国に行って今度は1勝を挙げたい」とモチベーションを高めていた。

ベテラン投手 好救援 まんぼう・杉村

杉村大輔

最後の打者を打ち取った37歳の杉村大輔を中心に、マウンドに歓喜の輪ができた。1部初参戦のファミリー寿司まんぼうが特別延長に及ぶ接戦を制していきなり頂点を奪取。「杉村がよく抑えてくれたし、40歳組の山下も二塁打で流れをつくってくれた」と

【ファミリー寿司まんぼう】

		打	安	点	振	球
⑧	川口	3	1	1	1	0
⑨	村上	4	3	1	0	1
⑦	野口	4	1	1	1	0
⑤	庄司和	4	1	0	1	1
②	津田	5	0	2	0	0
⑥1	杉村	5	0	0	0	0
③	高橋	3	0	0	1	0
HR	鈴木	1	0	0	0	0
3	庄司智	0	0	0	0	0
3	水崎	0	0	0	0	0
④①	井下	4	1	0	0	0
6	新岡	2	1	0	0	0
	山下	1	1	0	0	1
犠	併残盗失					
3	1 1 0 5 2	36	9	5	4	3

【パナソニック電工帯広】

		打	安	点	振	球
⑦	横井	5	0	0	1	0
⑥	菅野	4	0	0	1	0
H	梅原	1	0	0	0	0
④	一條	4	1	0	0	0
⑧	笹芳	3	0	0	0	1
⑤3	村川	3	0	0	0	0
②	毛利	4	1	0	0	0
③9	坂上	4	3	2	0	0
①	濱中	4	0	0	1	0
⑨	小森	3	0	0	1	0
5	池田	1	0	0	0	0
犠	併残盗失					
1	0 7 1 1	36	5	2	4	1

	回	打者	安打	振球	責
新岡	6⅔	25	4	2	1 2
杉村	4	13	1	2	0 0
濱中	10	42	9	4	3 3

初優勝のファミリー寿司まんぼう

準優勝のパナソニック電工帯広

打線に手応え 投手陣には課題 パナソニック電工

○…パナソニック電工帯広は、昨季に続いて決勝で涙をのんだ。連投の濱中基は終盤、さすがに疲れを隠せなかった。濱中1人になってしまった。もう1枚ゲームを作れるピッチャーが必要」と小野寺誠監督。

今季は選手13人と層が薄いのが悩み。元々交代勤務のため練習に全員がそろうことはないが、これまで以上にチーム事情は苦しい。大会全体では「貧打線のはずが意外につながった」と収穫もあり、投手陣を整備すれば立て直しは可能とみている。

◇準決勝
パナソニック電工帯広　0030140002 ―10
鹿追町役場　0070000000 ―7
【パ】坂上、濱中―毛利
【鹿】渡辺―草野
▽三塁打＝石田（鹿）
▽二塁打＝一條、毛利、村川（パ）
▽審判＝大津、岸田、相原、佐藤芳
本別町クラブ　0000020000 ―2
ファミリー寿司まんぼう　0110010X ―4
【本】田中―芳川
【フ】高石―津田
▽二塁打＝小泉（本）
▽審判＝二村、相原、岸田、伊藤博
▽二塁打＝河本（F）
▽審判＝春日井、棚

球友杯野球

（3日・帯四中、伏古別公園球場）
十勝バンビーノ　0302 ―7
ブラックナイツ　0000 ―0
（五回コールド）
【十】佐藤、岩田―上川
【ブ】幸田、高橋―佐々木
▽二塁打＝松田（十）
▽審判＝森岡、国澤、川向
FAウイングス　0000 ―0
テツワンクラブ　0000 ―0
（六回時間切れ）
必殺
【F】伊藤―宮腰
【必】大石、加藤、北野―加藤、今村
▽三塁打＝岩井（F）
▽二塁打＝河本、岩井（F）
▽審判＝城戸、川島、伊東（6日・帯広の森平和球場）
FAウイングス　1005 ―6
テツワンクラブ　0000 ―0
（六回時間切れ）
【F】川島―椿
【テ】内藤、上野拓、榎本―榎本、上野拓

◆第5回北海道カブスリーグサッカーU―15（4日・札幌サッカーアミューズメントパークなど）
＜1部＞
アンフィニMAKI・FC　3―1　帯北アンビシャス
コンサドーレ札幌U―15　5―0　SSSジュニアユース
プレッシャーグルドFC函館　2―2　札幌ジュニアFCユース
＜2部A＞
プログレッソ十勝FC U―15　2―1　ユニオンジュニアユースFC
DOHTO Jrユース　1―0　フォーザSC
サンク栗山　0―0　旭川緑が丘
＜2部B＞
伊達中　3―1　帯広FC
コンサドーレ旭川ユースU―15　3―1　フロンティアトルナーレFC

◆十勝地区カブスリーグサッカーU―15（4、5日・十勝川河川敷サッカー場）
▽1部
下音 1―1 帯一
帯更 2―2 広尾
帯緑園 4―0 帯南町
帯緑園 3―1 帯緑園二
帯南町 2―2 広尾
▽2部
札内 4―1 音更
帯大空 3―2 足寄
帯翔陽 5―1 帯
札内 6―2 帯大空
帯翔陽 5―1 帯
帯翔陽 5―1 足寄
帯四 2―1 音更
▽3部
大樹 6―2 札内東
士幌中央・上士幌 1―1 清水
八 3―1 芽室
▽4部
池田・浦幌 6―0 帯五
鹿追 5―1 新西
中札内 14―0 帯
帯五 5―2 新得
池田・浦幌 5―0 中札内
鹿追 11―0 帯西陵

白熱の決勝戦
帯広市少年野球大会

スポーツ応援団　OCTV

放送予定　7日（火）―12日（日）

４日に最終日を行った第41回帯広市少年野球大会、決勝戦は稲田タイガースと緑ケ丘キングファイターズが激突した＝写真。１点を争う好ゲームとなったこの試合、最終回に稲田タイガースが劇的なサヨナラ勝ちを収め優勝を決めた。その他、軟式野球高松宮賜杯１部十勝支部予選、国体卓球十勝予選、勝毎杯男女６人制バレーボール春季大会のダイジェストを放送する。

かちまいスポーツ
記録の速報は▶kachimai.mobi
写真がほしい▶TEL0120-25-9410

【クロスカントリー男子エリート】１時間19分44秒08で優勝した山本幸平（大賀静子撮影）

マウンテンバイク Ｊ１第２戦

山本幸優勝

兄の和弘も3位に

【長野】マウンテンバイクのジャパンシリーズ（J1）第2戦が5日、長野県富士見町の富士見パノラマリゾートで開かれ、クロスカントリー最高峰の男子エリートクラスで山本幸平（チームプリジストンアンカー―帯農高出）が1時間19分44秒08で優勝。兄和弘（キャノンデールレーシングチーム―帯三条高出）も3位となり、2009年の最終戦以来となる兄弟での表彰台を獲得した。山本兄弟は10日から中国・蘇州で開かれるアジア選手権に日本代表として出場する。

アジア選手権へ 順調に調整進む

山本和

○…山本和弘（東京都八王子市在住）は調整レースながら、日本代表としての強さを発揮し3位入賞を果たした。

1週間前に欧州遠征から帰国したばかりで、時差ボケの中でのレース。1週間後にアジア選手権を控えていることもあり「追い込んで疲れを残さないよう、そして下りで転んでダメージを受けないように」とマイペースのレース運び。順位にはこだわっていなかった。しかし最終周で思わぬ3位争いを展開することになり、結果を残した。

結局表彰台は、アジア選手権の日本代表組が独占。「2位の平野聖矢は欧州遠征でも一緒だった。ともに力を見せられたという点では良かったな」とまずまずの表情。「中国ではみんなが一つでも上に行くことで五輪出場（枠）が近づく。上位独占を目標に頑張りたい」と、アジア選手権2連覇中の弟幸平とともに意気込んでいた。（3位まで）

【男子】◇クロスカントリーエリート（4・0キロ×6周）＝①山本幸平（チームプリジストンアンカー）1時間19分44秒08②平野星矢（同）1時間20分39秒23③山本和弘（キャノンデールレーシングチーム）1時間21分5秒60

【クロスカントリー男子エリート】１時間21分５秒60で３位に入賞した山本和弘（大賀静子撮影）

ボクシング ミニマム級8回戦

吉田（陸別出身）TKO負け

【東京】プロボクシングのミニマム級8回戦が6日、後楽園ホールで行われ、吉田〝ARMY〟真（28）＝戸高STUDIOBee、陸別町出身＝は、同級日本ランキング1位の金田淳一朗（28）＝白井・具志堅＝に8ラウンド1分43秒でTKO負けした。攻守がめまぐるしく変わる白熱した展開になったが、最終ラウンドに金田から集中打を浴びた。吉田の通算成績は16戦8勝（5KO）6敗2分け。（池谷智仁）

日本1位と互角に

「試合の記憶がほとんどない。（TKOで）止められたのも覚えていない」と話すほど激しい試合だった。

互いに打ち合う展開になった。2Rに強烈な右ストレートで金田を追い込むなど、序盤は吉田ペース。終盤は金田に連打を浴びる場面が増えたが、日本ランキング1位と互角に戦った吉田には希望がある。「4Rマッチのつもりで試合に臨んだ。前半でKOを狙っていた」と残念がるが「反省してまたリングに戻りたい」と闘志は衰えていない。

【金田淳一朗―吉田〝ARMY〟真】第4ラウンド2分40秒、右ストレートを放つ吉田（右）＝東京・後楽園ホール（エムアイプランニング・中原義史）